（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	▫	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	全社員に対して平等な機会を提供するため、福利厚生なども含めた体制をつくり実施している。【予定】差別を禁止することを、就業規則に明記していく。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		▫	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントを禁止することを、就業規則に明記している。【予定】今後セミナー参加等も検討していく。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		▫	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	18時施錠を行い、帰宅を促している。【予定】入退管理システムの導入を検討する。導入により平日、土日問わず会社への入退を管理していく。								8.5 8.8									
4		▫	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【予定】同一賃金での雇用体制の整備を検討する。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		▫	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全協力会を中心に安全体制を整え、定期的に安全パトロールを実施している。安全協力会総会で協力業者とも共有をしている。また改善の対策をとっている。社内の安全衛生に関するポスター等の掲示を行い、安全衛生に対する認識を共有している。			3					8									
6		▫	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	【予定】メンタルヘルスの認識を深める講習等に参加し社内で共有していく。【予定】年1回のストレスチェックを実施を検討していく。			3														
7		▫	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性、高齢者、障碍者の区別なく職場で活躍している。また65歳を定年としているが、本人の希望も含めできる限り65歳以降も働ける環境を整えている。【社員の子育て応援宣言】に登録しており推進している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		▫	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	資格取得の支援、教育訓練講習会への参加を積極的に実施している。				4	5.5			8	9								
9		▫	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	正規･非正規の区別はない。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		▫	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	毎年健康診断を実施している。会社負担による予防接種の実施をしている。			3					8									
11		▫	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物処理の専門業者による適切な処理を実施している											11.6	12.4		14.1			
12		▫	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	【予定】今後エネルギー使用量を把握していく。							7.3						13				
13		▫	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	社屋照明をLED照明に交換済み。社用車利用時は、必ず運転記録台帳を記入し適切な管理を行うことで温室効果ガスの削減に努めている。							7.2 7.3					12.4	13.3				

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14	環境	▫	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	アスベストを含む建材等を適切な形で分別･管理･処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		▫	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	専門業者による廃棄物の適切な処理を行っている。						6.6									15		
16		▫	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	コピー機の裏紙利用を行っている。社内回覧物を一部メール共有している。ごみの適切な分別と再資源化に努めている。												12.5		14.1			
17		▫	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】水道水の利用状況をチェックし、効率の良い使用を検討していく。掲示等。						6.4 6.6											
18		▫	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】エコアクション21等の取得を検討する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		▫	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】環境方針を策定を検討する。												12.6					
20		▫	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	社屋屋根に太陽光発電を設置し、クリーンエネルギーを利用できる環境を整えている。							7.2						13				
21		▫	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	コピー機裏紙利用を行っている。社屋前の欅の葉を肥料として利用している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	▫	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】就業規則に明記していく。																16 16.5	
23		▫	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に明記している。【予定】就業規則の周知に努めていく。																16	
24		▫	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】規定の作成、保管方法の徹底などを推進していく。								8.2 8.3	9								
25		▫	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	【予定】規定の作成、保管方法の徹底などを推進していく。																16	
26		▫	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	取り扱っていない。																16	
27		▫	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		▫	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	安全協力会を中心に安全体制を整え、定期的に安全パトロールを実施し、社内と安全協力会総会で全体共有している。また改善の対策をとっている。			3.9									12.4					

29	製品・サービス	▫	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	法令順守を基本として、現在行動基準を作成中。								9									
30		▫	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】県産材の積極的な活用を検討していく。					6						12	13	14	15		
31		▫	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	IOT化の提案、3DCADの導入提案などを行っている。空き店舗、空家の利用促進活動を行っている。【予定】歴史的背景のある古民家等を再生し、利用する活動を検討している。【予定】県産材の積極的な活用を検討していく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	▫	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	社内の勉強会で、ブランドに対する意思改革に取り組んでいる。事業が社会に与える影響、また共生していくことの大切さなどを共有している。				4					9		11	12		14	15		17
33		▫	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	ユニセフへ毎月寄付を行っている。【予定】地域の子供たちの未来を応援する事業を検討していく。				4							11			14	15		17
34		▫	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	薪ストーブの薪は県内産を使用している。【予定】歴史的背景のある古民家等を再生し、利用する活動を検討している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	▫	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念や社長方針、今後のビジョンを社内で共有している。								8	9								17
36		▫	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	廃棄物処理、安全運転管理など各分野の法令順守に取り組んでいる。																16	
37		▫	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	総務部による企業活動全般の管理を行っている。																16	
38		▫	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	協力会での協力業者とのコミュニケーションを行っている。【予定】街ゼミなどによる、地域社会との交流接点を模索中。																16	17
39		▫	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																	16	
40		▫	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	社内の勉強会で、ブランドに対する意思改革に取り組んでいる。事業が社会に与える影響、また共生していくことの大切さなどを共有している。																16	
41		▫	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】事業継続計画の作成を検討する。									9		11		13 13.1			16	
42		▫	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	全社員でブランディングに取り組み、自社のブランド力向上に努めている。								8	9								17